

安心な空間

パーソナライズド

デジタル

空気中のウイルス・菌を抑制する機能を持つ

空気循環式紫外線清浄機の搭載試験を実施します

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）は、株式会社日立製作所（本社：東京都千代田区、執行役社長兼 COO：小島 啓二、以下「日立製作所」）、岩崎電気株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：伊藤 義剛、以下「岩崎電気」）とともに、お客様に「安心な空間」を提供するため、空気中に浮遊するウイルス・菌を抑制する機能を持つ空気循環式紫外線清浄機の搭載試験を2021年11月1日(月)より半蔵門線18000系車両1両にて開始します。

東京メトロでは、ウィズコロナ・ポストコロナにおいてもお客様に選ばれる鉄道会社となるため、3つのキーワード、「安心な空間」「パーソナライズド」「デジタル」に基づく施策に取り組んでいます。お客様に「安心な空間」を提供するため、これまで新型コロナウイルスの感染予防策として「窓開けによる車内換気」や「車両の抗ウイルス・抗菌処置」を実施してきましたが、今回、新たな取組みとして、空気中のウイルス・菌を抑制する機能を搭載した、空気循環式紫外線清浄機を1台試験搭載します。

本装置は、車内の空気を取り込み、254nm(ナノメートル)付近の紫外線を照射した空間を通過させることでウイルスや菌を抑制し、車内空間の環境改善を図ります。本装置は、病院、食品工場、商業施設、オフィス、学校などで利用されている製品を鉄道車両向けに開発したもので、日本初の試験搭載となります。

東京メトロは、お客様により安心して快適に地下鉄をご利用いただけるよう、引き続き「安心な空間」の提供に向けた取組みを実施してまいります。

詳細については別紙をご参照ください。



車両天井部



車両用空気循環式紫外線清浄機

空気循環式紫外線清浄機 搭載試験 詳細

1 実施時期

2021年11月1日(月)から2022年3月上旬予定

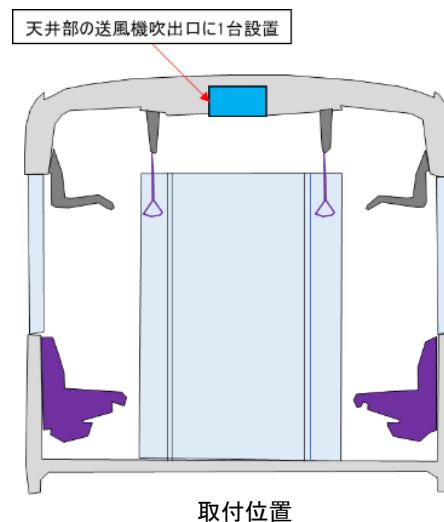
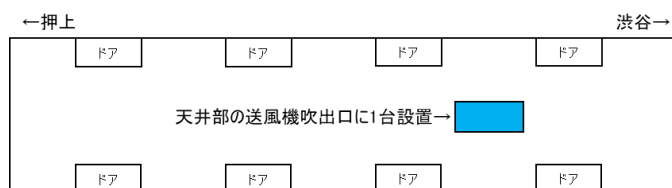
2 対象車両

半蔵門線 18000系車両 1両

3 搭載位置

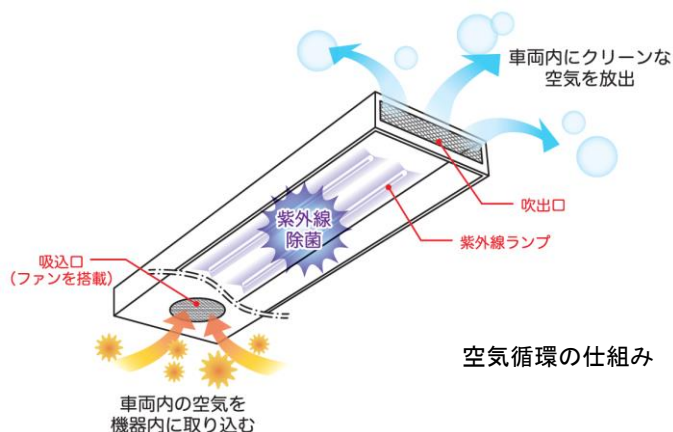
車両天井部の内部に搭載

※天井内部のため、客室内から見えない場所になります。



4 装置概要

車内の空気を装置に取り込み、254nm(ナノメートル)付近の紫外線を照射した空間を通過させることでウイルスや菌を抑制します。ユニットを通過した空気は客室内に戻され、車内空気が循環することで車内空間の環境改善を図ります。本装置に搭載されている紫外線ランプは、空気中に浮遊するウイルスや菌を抑制する効果が確認されており、病院、食品工場、商業施設、オフィス、学校などで利用されています。なお、本装置は天井内部に取付され、装置箱によって紫外線が漏れない構造になっており、安全面で問題ないことを確認しています。



※新型コロナウイルスへの効果に関する内容は、岩崎電気のホームページをご確認ください。

岩崎電気ホームページ : <https://www.iwasaki.co.jp/optics/sterilization/CoV-2.html>

5 今後の展開

今後の展開は、鉄道車両の環境下におけるメンテナンス性を評価し、総合的に判断する予定です。